
きやち！

離宮 愛琉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

きやち！

【Z-ONE】

Z2942B

【作者名】

離宮 愛琉

【あらすじ】

そう、彼女の名前はきやち、ウチの学校で密かなブームを巻き起¹こしているこの「KYACHI-STORY」いま、机より口²に降臨！

1話あやひ、現る！

おじとわい

この作品は、ちょっとぴり現実、かなりフィクションの完全コメディ一です

学校でちょっとぴり小説ブーム到来！ってな感じで机に書き始めたのがココに今降臨！

て感じです（笑ー）

ですので、そのまま…書にちゃおうかな～♪

そう、彼女の名前は『あやひ』。恋に恋する乙女（～）です！
あやひも元気に「わあー変態ー」叫んでます。

…なんだと～？

「あひーあやひー！」

そんな訳で

『KYADHII-S STORY』今始まります！

ただいまロード中

そうですね…まずは自己紹介ですか、
私は彩です。ただ、師匠と呼んでも大丈夫かも

さて、この「KYADHII-S STORY」ですが、主人公は私は
ではありません。

「あやひ」というく普通のはずの女の子のはずです。
あやひと私は「奇矢知中学校」に通っているちょっととかなり変わった中3です。

受験前にこんなことしてますかしてますが、まあよいです
しゅう。

まあ、事実をもとにすると、キャラもどがいるわけですが、そんな無駄な「キャラもと探し」なんかする時間があつたら勉強をすることをお勧めいたします。

さて、今回の…いえ、一話はとりあえず事実でも書きましょう。
題名は…「キャラたちのキャラチボール」でどうじょひ。

しゃっぱなから申し訳あつませんが、どうにも、これを書かないと落ち着かないので…
机に書いたのを移します。

さて、キャラですが、机（教卓のまん前から4番目）から見て、左斜め45。辺りにいる、ええ、そう。多分違います。だつてきっと彼女は今、どこかへ遊びに行っていますから、そこにはいませんよ（多分）彼女は一体どこにいるのでしょうか。私には見当もつきません。

ところで、これを書くに当たって、ひとつ注意しなければならないことがあります（仮）

それは「先生」どうやって見つからぬよつて隠して書くか」です。いまのところ、第5話までかいてしまったので、ほとんど溢れ出ています。

手入れも大変なんですよ。シャーペンで書くもんだからすぐに消えちゃうし。キャラちは嫌がつて消しちゃうしで、キャラはたまたものじゃないんです。（え？ 何か言いました？）

ええ、そんな訳でキャラチボールをしたわけですよ。（まだ何か？）キャラはせじそとばかりにドッヂボールのよつてボールを投げてきます。

時速…いや、秒速50ほどぐらうが妥当でしょ。

私は危うく骨折しそうになりましたよ。（ほんとうですよ？）

いえね、さやちはバレー部なので、しかも凶暴なので気をつけて扱わなければなりません。

さやちは基本的にボールが好きですね。

キヤッチボールって意外とネタがありますねえ…まあ、良いでしょ。

では、そろそろ…

そうですね…さつとい話もありますよ。

KYACHII can fly!

今日は曇り……やつぱり嫌な事がたつくさん起こつたわ…
なにより、机のきやちを消しちゃつたの！

と、いじじで…

机のをここに温存させてしまおうと思ひます！

「KYACHII CAN FLY!」

「ホントに助けて……×2（笑）」

いつもビーリ、きやちは他人が聞いたら絶対に意味が分からぬいで
あらう言葉（？）
を発しながら現れた。

片手にはテーブルクロス。

ズルズルと引きずりながら…あ、こけた。

「イタツ！ ×2 うあ～も～サイアク～（笑）」

…アホか？大丈夫なのか？

「ねえ、手伝つてえ～」

…大丈夫では…元々なかつたか…。

「はい ×2。不器よーきやち。」

「えつヒドくなーい？」

酷くない。だつて…

「ちよつとまつてえ～！」

「もう！いい！触るな！あつちいけ！」

毎回私が一人で畳むんだから。

「私がやつてあげるよー」

それは、きやちとは正反対のナツノさんでした。

「うう～…」

…なんできやちが唸つてんの？

「どうした? 何が?」

私がきせきの鳥に手を置いた瞬間

「わあ！変態！」

「アハ、きゅう、ミー、ヘンタ一？ な、ん、た、ど、！」

主：君やちは人一倍、くすぐりこ弱い。

「わあ――――――！」

卷之三

「私たちは見てるナツノ」

やつとせやちを北階段でつかまえた。

待つやつがどいたいる！

... I can fly!

は？あれ？え！？ぎやな、今窓から飛び降りなかつた？

「私は死にましぇうん！」

頼む。一回だけでいいから死んでくれ。

「イエイ！」

ג' ענין

…一へやが、わざわざ殺されたもじつめたわ△）やがひこ、

卷之三

ん？誰？あ、ナツリ あ!! テーブルクロス、忘れてたあ！

「あんたらねえ… どんだけ天然なの?」

こうして「天然コンビ」は誕生した（仮）

まあ、題名で分かると思いますが、今回はきやちの好きな人についてです。

……相当嫌がつてますね……でも、もうやつちゃうので……

「えへへー! あなたが待つてー!」

「？」

手を握らないでください。そんな必死な目を向けないで下さい。

余計、書きたくなつちやうでしょう？（笑）

では……って！うわあ！なにすんだ！

かかるか？

「手洗つただけだよお？」

ゲシツ！

「痛つ！待つて×4！」

逝つて、ひつしゃーい『氣』をつけてねえ

だわけですが
：

どんな声が聞こえますか？ん？何か折れる音が聞こえたような…

ドス！

「うわーあさり！」

嫌な予感

「あ、やあ～～！～！」

死んでないつつ！？あの地獄の中でも！？

（奇矢智中は一年が酷い荒れ模様です。また、一年もカナリのものでしょ。）

親切に解説ありがとう！謎のおねえさん！

「ジャンケンぽい！」

あつちむいてほい。

「ジャンケンぽい！」

あつちむいてほい。

「ジャンケンぽい！」

あつちむいてほい。

「負けた～」

三回連続で負けるとは…すごいなあ…（笑）

ところで、きやち。後ろにとんでもない事をしよう…

「え？ 何ー？」

ベキッ！

して、思つたようにならなくてカナリ驚いてる一年が一人。

「違うよ。椅子でぶん殴ろうとして、椅子が壊れてカナリ焦つてる馬鹿な一年の男子だよ。」

大体同じです。

「そお？」

…その日は、一年にとつて衝撃的な日でしたでしょうね。まあ、これはとりあえずファイクションですが、近いうちに実現させて見せますよ。…受かつたらねつ！

ところで、読んだら感想をください。あなたも。そこあなたのも。そして…

「なにー？何書いてるのー？」

きやちのす…

「なにやつてんのー！？まずいよーこれはー！」

次回をお楽しみに！

マジで感想くださいつつ！

「キャラ変わってるよー？」

「いいんだ。

「いいんだ？」

未知との遭遇

「ねえ……」

「なにか？」

「彩さあ」

「うん。

「別の小説にウチの事載せなかつた？」
見れば分かるよ。

「…………」

『『受験生つてろくな事ない！』』

まあ、そんなもんだよね。

「そんなもんか」

ウチ、明日だし。

「そつかあ……え！？」

都立は23日よ？

「彩さあ」

「うん。

「最初とキャラ違わない？」

「そんなもんよ

「そんなもんか」

「いいけどさあ、

「何？」

何で、私は放課後に教室でキミに数学を教えているのかな？

「そんなもんよ」

「そんなもんか

「…………」

トイレ一

「え！？ え！？」

行くぞ！

ししよお

* * * トイレ * * *

そういえば……さ、

例

「うん。勝手にトイレ流れた事あるよ。」

106

ウチら一人だけじゃない?

- 3 -

卷之三

111

「うつあ

バカ！手くらい洗つて行け！

「それより！」（涼いは来た）

卷之三

大大大教室大大大

わ、い、こ、え、ば、た、

何？

「二、前」

「え？ 何？」

ある女の子がね、忘れ物をして学校まで取りに来たんだって。

「それで？」

「机からね、取るうとしたらガタツつて音がしたんだって。

「…………」

よく見ると、廊下側から三番目の4人目の席から手が出てたんだって。

「何氣リアルじゃない？」

作り話だけどね。

「うわつ！ 酷くない？」

「お？」

「そういえば」

「ん？」

「さつきから音しない？」

変な事言つなよ。

「つちひ、見えるんだよね」

「初耳。つてか何を言つていらはるの？」

「でもさ、テレビとかみたいに青くないよ？」

「これは、天然つてだけで片付けられるのか？」

未知なる体験でした。

「何が？」

「？」

きやちとは未知なる生物です。

「え？ 酷くない？」

「つて口癖？」

「そうかも」

「ところで、

「何い？」

相手ではないな……

「彩ーーあーーやーー？」

怖いよー？お化け以上に……－－－－－

「ふふふふふふ……」

わやああああああああああああああああ……－－－－－

この後の事は、『想像』にお任せします。

今、私は「とてもなく悩んでいます…。

「何が？」「

どこまでが、プライバシーというやうで、個人情報で、犯罪になるのか…

「うん 分かんない

フツ
:

「何？！」

和や、やうやく本気出してみる気にはならないかい？

「無理。」

どうしてえ？

「……彼氏できなくなるぢやんーー！」

トロジ十算壁一ダツト

卷之二十一

俺はどうしても音楽の先生になりたいから勉強しなきやいけないの

に
！

たのに！ たのに！ たのに！

『まあか！』『マジウで勉強するーー！』とか言つて

ずつとおまえの「ふふとふおふあふあふいふあふおーー

!!!!!! シーケレット!! シーケレット!!

ふおおおおふお!!!(ほほほか!!)

…つてことで、高校に入つてからみよーに色気づきやがつたこんち

۷۷۰

今日も私は仲良くなっただけで、クラスメイトと「」はんを食べていたつてのに！

「彩ー！…鬼！」ヤロー…
また来やがつた！…！（怒）

～～今日の一言～～
何なんだよ～…！…！？

眠みいぜこんちくしょうー

ボクだつて彼氏くらい欲しこつちゅうのー
「作ればいいじゃん？」

……できないから悩んでいるんだらう?
「できたんじゃなかつたつけ？」
いるけど…（？）

「何ー？」

ちょっと（カナリ）違ひとおもひ。

「…でもこるんでしょ？」

…いや…

ボクは…

「ツンデレ」

では
ない
よ？

「何それ！？」

まあ、そのうちな。

「教えてよー！」

…つるさいわね…

首狩るわよー？

（分かる人には分かるでしょ！^{ヒヘ}笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2942b/>

きゃち！

2010年10月9日01時51分発行